

# 都立競技施設における アクセシビリティ・ワークショップ（第6回）

## 主な意見

日時 平成29年11月2日（木）

10:00～12:00

会場 都庁第二本庁舎10階207・208会議室

### 1 議事

○ これまでのワークショップで聴取した意見に対する対応状況について

- ・「東京体育館」、「東京辰巳国際水泳場」、「東京スタジアム」、「カヌー・スラローム会場」の対応状況の説明、意見交換

### 2 説明内容に対する主な意見

#### 【全施設共通】

- ・関係機関への情報提供にあたっては、例えば視覚障害者誘導用ブロックを敷設していない箇所がある等、ハード面の整備状況を伝えた上で、人的サポート等運営に関する検討を行うよう依頼してほしい。
- ・個室トイレのドアは常開を原則としても、ドア鍵は使用中かどうか目で見て判断できる仕様にしてほしい。
- ・トイレの機能分散をすることについて、わかりやすい表示を行うこと等により、利用者にはっきり案内してほしい。
- ・サインの文字の大きさについては、基準の最低限の数値を適用すれば良いということではなく、高齢者や弱視の人も十分に認識できる大きさを検討してほしい。また書体については新しい書体が開発されているので、そういった状況を踏まえながら決定してほしい。
- ・施設スタッフやボランティアの研修については、ハード面での環境整備の限界をどう補うか等、具体的な場面を想定して検討してほしい。

#### 【「カヌー・スラローム会場」についての意見】

- ・水があると路面にいろいろな乱反射があるので、まぶしさ対策について検討してほしい。